

物流拠点「ZOZOBASE 習志野 2」に 再生可能エネルギー由来の電力を 100%導入

～当社拠点の電力消費量の9割以上が再生可能エネルギー化、
「2030 カーボンニュートラル宣言」の中間目標を前倒して達成～



物流倉庫ZOZOBASE
習志野2に再生可能
エネルギー由来の
電力を100%導入

2022.09.13 UPDATE



ファッションEC「ZOZOTOWN」(<https://zozo.jp/>)を運営する株式会社ZOZO(本社：千葉県千葉市 代表取締役社長兼 CEO：澤田 宏太郎)は、2022年9月12日(月)より当社の物流拠点「ZOZOBASE 習志野 2」において、実質的にCO2排出量がゼロとなる再生可能エネルギー由来の電力を100%導入いたしました。

これにより、当社拠点の電力消費量のうち90%以上(※1)が再生可能エネルギーとなり、2022年2月に発表した、事業活動での温室効果ガス排出量を2030年度までに実質ゼロにする「2030カーボンニュートラル宣言」(※2)で掲げていた“2025年度までに、当社が利用する電力の80%以上を再生可能エネルギー化”するという中間目標を約2年前倒して達成いたしました。

「ZOZOBASE 習志野 2」は、ZOZO 本社、ZOZOBASE 習志野 1、ZOZOBASE つくば 1、ZOZOBASE つくば 2 に続く再生可能エネルギー導入拠点であり、現在当社が構える4つの物流拠点全てに導入が完了しました。導入する電力は、他拠点と同様にトラッキング付・FIT 非化石証書等が付与された、太陽光由来の実質再生可能エネルギー電力です。

ZOZO グループでは2021年4月より、サステナビリティステートメント「ファッションでつなぐ、サステナブルな未来へ。」と「4つの重点取り組み」(※3)を掲げ、重点取り組みの1つとして、持続可能な地域づくりへの貢献活動を推進しています。2023年8月稼働予定の新たな物流拠点「ZOZOBASE つくば 3」にも再生可能エネルギーを100%導入することを予定するなど、今後も「2030カーボンニュートラル宣言」の目標達成に向けて引き続き積極的に取り組み、環境や社会に配慮した新しいファッションの世界の実現を目指します。

(※1) 当社拠点の電力消費量の合計は約2,000万kWh(2021年度)

(※2) 2030年度までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする、「2030カーボンニュートラル宣言」を発表

(<https://corp.zozo.com/news/20220202-17717/>)

(※3) サステナビリティステートメントと4つの重点取り組み (<https://corp.zozo.com/sustainability/policy/#sustainability-statement>)

導入拠点

ZOZOBASE 習志野 2 / 千葉県習志野市茜浜 3-7-2 Landport 習志野 5 階

導入日

2022 年 9 月 12 日 (月)

導入内容

FIT 非化石証書代理購入サービス

使用電力量

約 418 万 kWh (※1)

CO2 削減量

約 1,869 トン (※2)

(※1) 2021 年度実績値

(※2) 算出期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 電気事業者別排出係数 0.000447/kWh で算出

参考：環境省・経済産業省「電気事業者別排出係数(令和 4 年報告)」<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

<株式会社 ZOZO について>

ファッション EC「ZOZOTOWN」をはじめ、「ZOZOCOSME」「ZOZOSHOES」といったカテゴリー専門モール、ブランド古着を取り扱う「ZOZOUSUED」やラグジュアリー&デザイナーズブランドを取り扱う「ZOZOVILLA」、個性豊かなインフルエンサーブランドを展開する「YOUR BRAND PROJECT」、ファッションコーディネートアプリ「WEAR」など、ファッション好きに向けた各種サービスの企画・展開をおこなうほか、「ZOZOSUIT」「ZOZOMAT」「ZOZOGLASS」などの計測テクノロジーの開発・活用にも取り組んでいます。